

よみがえる25年前

1988年
10、11月

これは今から25年前を記憶や資料をたよりにひも解いてみようとする企画です

◆ハバロフスク・テレビ杯大会

ソ連のハバロフスクで野球やゲートボールの普及に力を入れているベースボールマガジン社の力で山岸倫也、村越真、吉田勉の3氏が招かれ、大会に参加した。

ソ連は25万人のオリエンテーリング人口を抱え、世界選手権でもメダルを競えるほどのオリエンテーリング大国であるが、それはヨーロッパに近い地域のことであり、極東ではどうであろうかと思っていた3人であった。

10月1日と2日に大会は開催され、マススタートで行われた。テラインは単純な地形で、なだらか、さらに紅葉で気持ちの良い広葉樹の林はどこまでもまっすぐに走れる。

当時、日本のトップランナーであった3人だが、ソ連の選手の走りにはついていけず、第2ポストに行く途中で第2集団に居残れない状況であった。結果は29名中、16位、24位、27位ということで、彼らの実力を見せつけられた。走力勝負であったこの大会について山岸氏は、「こうゆうのはOLではないクロスカントリーであるといってしまうのは簡単だが、それは私には言い訳のように思える。速く走れることはOLの、スポーツの基本である。速く走れる選手がそれほどいい結果を残せない日本のテラインやコースのほうがよっぽど、スポーツとして不健全な気になった。だからいつまでも世界に通用するような選手が育たないんだよ。きっとソビエトでは、こんな荒っぽいOLを通じて、本当に天才的に才能のある選手が育ってくるんだろうと思う。」と述べている。印象的である。



中列：左から山岸選手・ワテリーナ・アクサーナ・吉田選手・ダローニャ

◆韓日親善オリエンテーリング大会

第3回韓国OL選手権大会は、韓日親善大会を兼ね、10月30日に水原市郊外の丘陵地帯で開催され、快晴に恵まれた絶好のコンディションの下、日本から60名の参加者を含む約500名がエントリーし、盛大に開催された。

テラインは2つの大きな池の周囲に広がる耕作地(田?)と山が半々に山裾には数件づつまとまって民家が点在する地形であり、日本でも常設コースでよくある地形である。地図の記号説明には日本語が併記されていた。



1988年10月30日の上位を占めた日本女性達。左から、日本代表で山本のみずほ、三好良子のみなさんと右端が(韓国)の選手で部長の朴正淑氏。 (撮影：新報社)

時の話題

10月6日女優の堀北真希誕生

10月17日AKB48大島優子誕生

10月19日リース業界最大手のオリエン・リースは阪急ブレーブスの買収を発表。球団名はオリックス・ブレーブスに。

10月23日 第46代横綱朝潮太郎死去

11月1日卓球の福原愛、プロ野球の田中将大誕生

11月9日元東京大学総長で物理学者の茅誠司死去

11月14日第66代内閣総理大臣三木武夫死去

11月16日ソ連のエストニア共和国が主権宣言。(1991年に独立)

11月17日オランダがインターネットに接続された2番目の国となる。